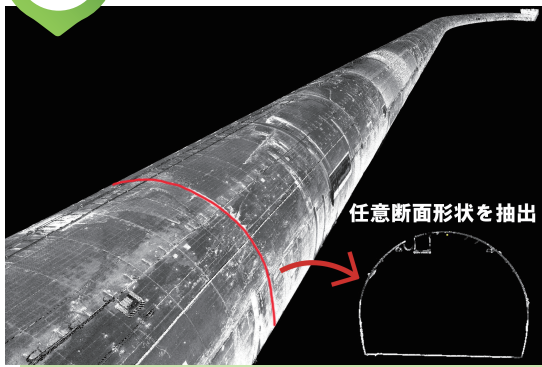


遠隔操作ロボットで取得した 三次元点群データによるトンネル調査

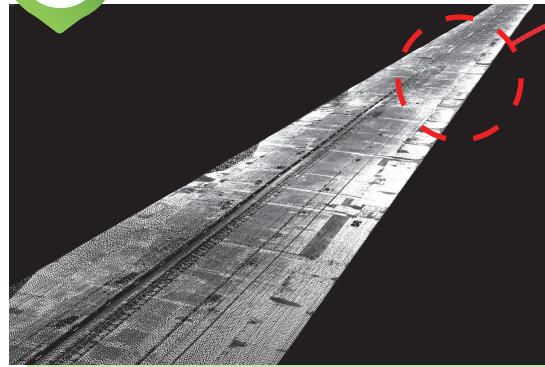


Spotをレーザースキャナーと連携することにより、遠隔での三次元データ取得が可能です。崩壊の可能性がある場所や、有害ガスの濃度が高い場所でも長時間の作業が行えます。

01 取得三次元点群データ

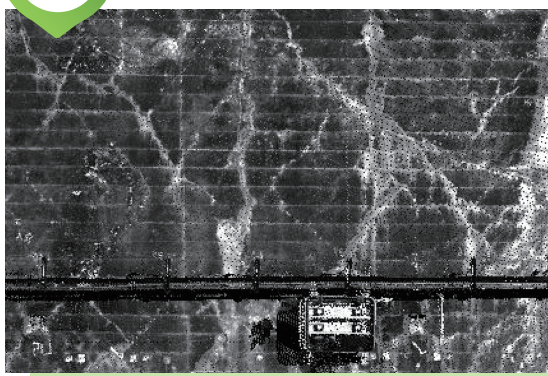


02 平面展開処理(全体)

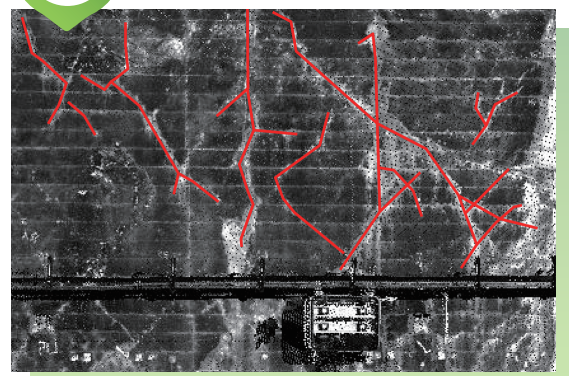


カーブトンネルも展開できます!

03 平面展開処理(拡大)



04 クラック位置平面図



上記方法により、ひび割れの発生位置・長さ・方向を正確に把握して、図面化することが可能です。三次元データを時系列に管理し任意位置での断面図作成や差分解析を行うことで、現状や変異状況を視覚的に把握でき、維持管理及び災害防除の視点においても非常に有用です。

基幹構造株式会社

所在地: 東京都世田谷区鎌田3丁目12番16号ヴィアードステージ2階

電話: 03-3415-6888 / 03-3415-6444

Mail: ksc-honsiya@key-s-c.co.jp ホームページ: <https://www.key-s-c.co.jp/>

